

スタートアップ深層 ～ 世界が注目する理由に迫る～



学習特化型
動画配信プラットフォーム



完全オフグリッド
排水処理システム

毎年多くのスタートアップ企業が誕生するイスラエル。革新的な技術やプロダクトを生み出し、世界から注目を集めているスタートアップの中から、今回、Row 9 Digital 社と Laguna Innovation 社の2社に彼らの創業過程や事業戦略、今後の展望、さらには日本市場への思いや本音を聞いた。

1.

Row 9 Digital

Mr. Yuval Kalati

Co-Founder & CEO

学習に特化した動画配信プラットフォームを開発

Row 9 Digital 社（以下：同社）は、デジタル世代である児童がより楽しみながら学習をできるようにすることを目指し、学習に特化した動画配信プラットフォーム「AcadeMe+」を開発している。



同社は、現在 200 以上の国や地域において、様々な科目やカリキュラムに沿った 1,000 以上の映像作品と約 5,000 のメジャー映画作品を一挙に配信する権利を保有している。今日多くの動画配信プラットフォームがある中、同社は唯一学習活動に注力した機能やコンテンツの拡充を継続的に展開している。

今回は、CEO の Yuval Kalati 氏に取材を行なった。

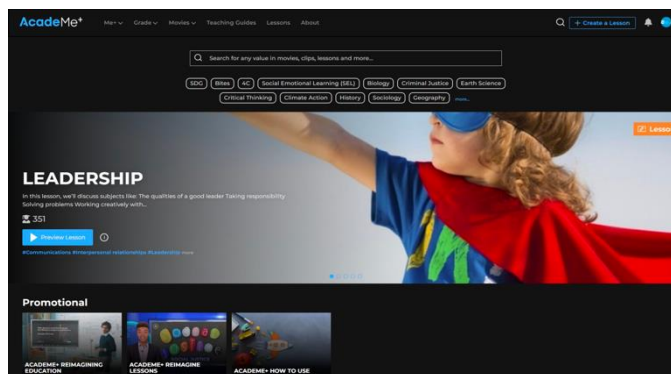
学習におけるメディアコンテンツの活用を目指し創業

同社のCEOである Yuval Kalati 氏（以下：同氏）は、同社創業前の20年間以上をエンタメ業界で従事した経験を持っており、常に人々を飽きさせないバリエーションに富むメディアコンテンツが教育においても活用できると考え起業するに至った。

幅広い教育現場へ導入することを可能としたサービス設計

同社が開発した「Academe+」は、既存の動画配信サービスとは異なり、様々な教育現場にも導入しやすいサービス設計が行われている。

例えば、既存の様々な映像作品を学年・教科・学習テーマ等のタグに紐付けることで自動的にレコメンドする「AI 検索エンジン機能」を有している。また、授業で用いるために学習テーマに関連する一部分のみを切り取って動画クリップを作成できる「編集機能」や、学習の定着を促す「クイズ出題機能」等によって、教育現場で幅広く活用しやすくなっている。さらに、「パフォーマンスレポート機能」は、教師が児童の学習状況をオンライン上で把握することを可能にしている。これらの機能により、従来の教育方式と比較して児童の学習に対するエンゲージメントを大きく伸ばすことができることが期待されている。



Yuval Kalati 氏

CEO から日本企業に向けたメッセージ

私たちは、あらゆる教育現場をターゲットとしているため、日本への展開も当然視野に入れていきます。また当社事業の展開にご協力して下さる企業とは資本提携も含めて検討したいと考えています。

<https://academe.plus/>

2.

Laguna Innovation

Dr. Clive Lipchin

CEO

完全なオフグリッド化に成功した排水処理システム

Laguna Innovation 社（以下：同社）は、クリーンな電力で稼働する排水処理システム（以下：同製品）を開発している。



同社は、現在までに同製品のパイロット化に成功し、米国での特許取得も完了している。同製品は、非常にコンパクトで二酸化炭素排出量を最小限に留めているため、浄水インフラが発達していない国や地域での導入も可能な設計となっている。

今回は、同社の CEO である Clive Lipchin 博士に取材を行なった。

世界中が面する「水と衛生」の問題を解決

同社の CEO である Clive Lipchin 博士（以下：同氏）は、全世界のいたるところで直面していると言われている水と衛生の問題に関心があり、支援活動を通じてより根本的な解決方法を考えていた。同氏は、これら多くの問題が水と衛生に関する知識が十分でないコミュニティ単位で起きていること、また水の枯渇は農業における灌漑、すなわち食の問題に直結していることに気が付き、起業するに至った。

排水処理の根底を覆す 3 つの革新性

同製品は、上述した課題を 1 ストップで解決する為の 3 つの重要な革新性を持っており、これらは多くの競合他社が開発過程において実現することが出来ていない要素である。

まず同製品は、完全なオフグリッド化が実現されている。独自に開発したソーラーパネルとその電力を最適に運用するバッテリーシステムを組み込むことで、インフラレベルを問わず電力供給がなくても、システムを導入することを可能にしている。

2 つ目に、独自のスマートフォンアプリを通じて同製品の遠隔管理を可能にしているという革新性がある。これにより、知識的および技術的な能力の有無によって運用が難しい場合でも、遠隔で支援することができる。

3つ目の革新性として、複数の独自特許技術を用いることで多くの一般的な排水処理工程で頻出する汚泥処理の問題を解決し、殆ど汚泥を排出せずに排水処理することを可能にしている点が挙げられる。これはシステムメンテナンスが必要とする工数を最小限に留めることで、より多くのコミュニティでの導入を実現することに寄与する。



Clive Lipchin 博士

CEO から日本企業に向けたメッセージ

私達の製品は主にアフリカや中東等の発展途上国または排水処理技術を必要とする地域での導入を想定しており、先進国である日本でのニーズは限定的であると考えています。しかし水の問題は全世界が共有している問題であり、その問題に取り組むために国際的にも有名な日本の JICA 等と協力関係を結びたいと考えております。

<https://www.lagunainnovation.com/>